

魚の中に入った放射性セシウムはそのまま体の中に残るの？

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産研究・教育機構
	公開日: 2025-04-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014010

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



Q. 魚の中に入った放射性セシウムは
そのまま体の中に残るの？

A. おしっこなどと一緒に、体の外に出ていきます。

セシウムは、水によく溶ける物質です。このため、魚の体内に入っても、おしっこなどと一緒に体の外に出ていきます。また、海の魚は、エラからもセシウムを体の外に出しています。こうして体の外にセシウムが出て行くので、放射性セシウムの濃度は、どんどん下がっていきます。

生物の体内に入った放射性物質が半分になるまでの期間を、生物学的半減期と呼びます。魚類に入ったセシウム-137の場合、約50日で半分になるといわれています。

